

職員による自己評価

A環境面

通所との兼ね合いがあり、スペース的な制限がある中で工夫をして整えている。

B児童への支援内容

利用児1名の為個人に合わせた支援を行った。計画については複数名アセスメントから関わり必要な支援を検討して実施した。

C関係機関との連携

施設入所のために情報提供をおこなった。

D保護者への説明責任・信頼関係

直に親御さんに会う機会が少なかったため、電話と記録書でコミュニケーションが密にとれるようにした。

季刊でお知らせを発行している。

E非常対応

マニュアルについてこどもデイ統一のものを使用しているが、周知が甘いのか共通理解が薄い。避難訓練は療養通所と合同で行っている為続けていく。

保護者による評価

A環境面

職員配置について適切と

B児童への支援内容

ヒアリングとフォローがしっかりされ計画立てられ支援されている。本人が大好きなことを行ってもらえてとてもよかった。

C事業所からの情報発信

R3年評価等発表したことが伝わっていなかった。

D非常対応

緊急時などのマニュアルの周知が不足している。

全体としては児も通所を楽しみにしており事業所の支援についても大変助かったと満足をいただいていた。

事業所内での分析

【共通点】

- ・緊急時のマニュアルについて周知が十分でない。
- ・情報発信についてHPにアップロードしただけでは知ることができずにいる。

【相違点】

- ・家族とスタッフにおいて意見の相違はあまりなかった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・状況に合わせてできる限り密にコミュニケーションをとることができる。
- ・日々の支援を十分に行えている。

事業所の改善点

- ・季刊でお便りの作成を行った。

事業所の改善への取り組み

- ・情報発信について、利用者さんに応じて発信がきちんと受け取れるようにフォローアップを行う。
- ・利用児童が少ないなかで児童同士の触れ合いができるよう手段を考えていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

思った以上にスタッフ間でもマニュアルや事業所の受けている評価等対外的なことや施設連携などについて知られていないことに驚き、十分な説明が必要と感じた。

事業所名 悠 YOU こどもデイ

担当者 那須 夕子